

第 10 期アンケート調査設問に係る主な変更点

(1) 認知症に係る設問の追加 一般高齢者 要介護・支援（在宅）

第10期計画の策定に併せて、市認知症施策推進計画の策定を予定していることから、認知症の見出しを新設し、設問を追加しました。

問〇 認知機能の状況 ※ 一般高齢者個別調査においては既存設問

あなたは、下記のようなことがどれくらいあてはまりますか。（はい又はいいえ）

- ア. 周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるとされますか。
- イ. 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。
- ウ. 今日が何月何日か、わからない時がありますか。

問〇 認知症を打ち明けることができるか

あなたが認知症になった場合に、あなたにとって大切な人に認知症であることを打ち明けることができると思いますか。

- 1. そう思う 2. 少しそう思う 3. あまりそう思わない
- 4. そう思わない 5. わからない

問〇 身近に認知症の人がいるか

あなたの身近に、認知症と思われる方がいますか。

- 1. いる 2. いない 3. わからない

問〇 認知症の人の意思が尊重されているか

日常生活の様々な場面において、認知症の人の意思が尊重されるなど、これまでの生活が維持できていると思いますか。

- 1. とてもそう思う 2. 少しそう思う 3. あまりそう思わない
- 4. 全くそう思わない 5. わからない

(2) 社会参加の活動頻度に関する設問の追加 一般高齢者

日本老年学的評価研究機構による研究において、高齢者の社会参加の活動量が要介護認定と関連することが示されたため、活動頻度についての設問を追加しました。

問30 あなたの社会参加の状況についておたずねします ※ 既存設問

(1) あなたは、現在、下記のような活動をしていますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 趣味、スポーツ、レクリエーション（手芸、ダンス、歩こうの会など）
2. 学習会、講座（語学勉強会、歴史学習など）
3. 地域行事（地域のサロン、老人会など）
4. 社会・地域貢献活動（自治会活動、社会貢献団体活動、ボランティア活動など）
5. 就労
6. 何もしていない

【問30で「1」～「5」に○を付けた方のうち、実際に活動している方にのみおたずねします】

問○ 問30でお答えいただいた活動を合わせると、あなたはどれくらいの頻度で活動を行っていますか

1. ほぼ毎日行っている 2. 週に2～3回 3. 週に1回程度
4. 月に1回程度 5. 年に数回程度

(3) 週あたりの介護頻度の設問を追加 要介護・支援（在宅）

既存の設問（問27：1日あたりの介護時間）だけでは、正確な介護実態の把握が難しいことから、国が示す在宅介護実態調査調査票の項目を参考として、週あたりの介護頻度に関する設問を追加しました。

問○ 主な介護者からの介護は、週にどのくらいありますか

1. ほぼ毎日 2. 週に3日～4日 3. 週に1日～2日
4. 週に1日より少ない